

DocWays AutoFAX

for ApeosWare Flow Management

Ver1.2

ユーザーズマニュアル

エイセル株式会社

- ・ Microsoft および、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または商標です。
- ・ DocWays は、エイセル株式会社の登録商標です。
- ・ DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management は、エイセル株式会社の商標です。
- ・ その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または、商標です。
- ・ なお、本文中では、TM、R マークは明記していません。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社まで御連絡ください。

また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

目次

はじめに.....	1
1. 特長.....	2
1.1 本ソフトウェアで実現可能なFAX送信ソリューション.....	3
2. 動作環境とソフトウェア構成.....	6
2.1 動作環境.....	6
2.2 ソフトウェア構成.....	7
3. インストール.....	8
3.1 インストールの前提条件.....	8
3.2 新規インストール.....	9
3.3 上書きインストール.....	14
4. アンインストール.....	17
5. 使い方.....	21
5.1 DocWaysの宛先フォルダーを作成する.....	22
5.2 ApeosWare Flow Managementにフローを追加する.....	24
5.3 追加したフローにFAX送信を行うための基本情報を設定する.....	25
5.4 送信先のFAX番号を設定する.....	26
5.5 FAX送信する文書の内容について設定する.....	28
6. 画面の説明.....	30
6.1 [基本情報] タブ.....	32
6.1.1 「DocWays設定」画面.....	32
6.1.2 「送信先FAX番号設定」画面.....	34
6.2 [文書情報] タブ.....	39
6.2.1 「文書内容設定」画面.....	39
6.2.2 「コメントの設定」画面.....	44
6.2.3 「文書イメージ」画面.....	49
6.3 [バージョン情報] タブ.....	50
7. 実行結果ログ.....	51
7.1 実行結果ログ一覧.....	51
8. 注意/制限事項.....	59

8.1 FAX番号について	59
8.2 処理可能な文書ファイルについて	59
8.3 DocWaysー共有フォルダー／宛先フォルダーについて.....	60
8.4 DocWaysー使用するFAXプリンタの注意事項	60
8.5 CSV形式ファイル読み込みに関する注意事項	60
8.6 DocWaysの宛先フォルダーについて.....	60
8.7 「DocWays AutoFAX設定」画面が開かない場合	62
8.8 ファイルのダウンロード／アップロード機能について	62
8.9 SMBプロトコルについて	62
8.10 ドメイン環境に関する注意事項	63
8.11 バージョンアップに関する注意事項	63
8.12 データ移行に関する注意事項	63

はじめに.....

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management は、富士フイルムビジネスイノベーション(株)製の ApeosWare Flow Management の配信先として機能するソフトウェアです。DocWays と連携することによって複合機を活用した自動 FAX 送信／返信を実現します。

このマニュアルを使用して、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の使い方、機能を習得できます。

1. 特長

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の特長について説明します。

1. 動作概要

- DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementは、富士フイルムビジネスイノベーション(株)製のApeosWare Flow Managementの配信先機能として動作します。
- ApeosWare Flow ManagementとDocWaysを連携することによって、複合機を活用したFAX送信／返信ソリューションを実現します。

2. 主な機能

- ApeosWare Flow Managementが取り込んだ文書をDocWaysへ通知し、DocWaysのFAX送信業務に対してFAX送信することができます。
- DocWaysを使用して、大量の文書を自動的にFAX送信することができます。
- 既存の宛先変換情報を使用してFAX送信することができます。
- FAX送信する文書に、任意のコメントを付加してFAX送信することができます。
- 同報FAX送信を行うことができます。

3. インストール／アンインストール

- 専用のインストーラーを起動してDocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementのインストール／アンインストールを行います。

詳細については、「3. インストール」、「4. アンインストール」を参照してください。

1.1 本ソフトウェアで実現可能な FAX 送信ソリューション

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を使用することで、次のような FAX 送信ソリューションが実現可能となります。

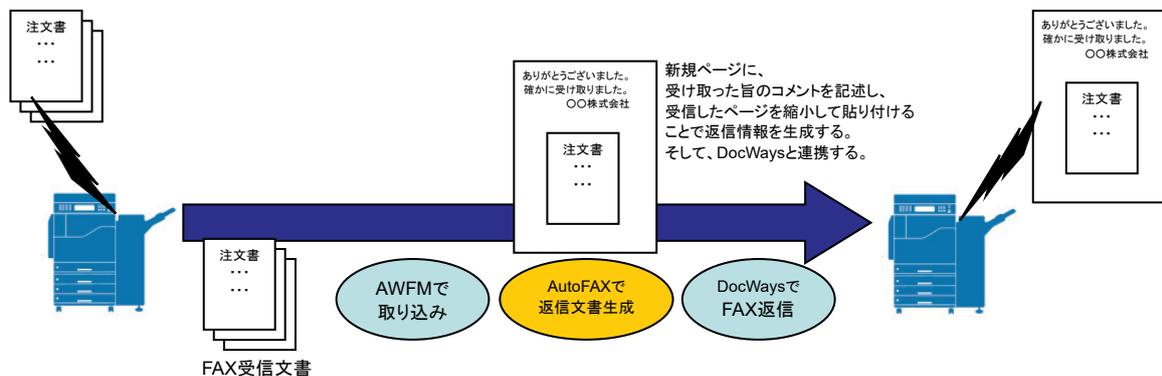
(1) 返信FAXを実現します

受信したFAXに対する返信を実現できます。

受信したFAXの任意のページを縮小して貼り付ける、任意のコメント、ページ数などを付加して返信することを可能とします。

発行者ID、ApeosWare Flow Managementが提供する各種属性情報を元に、返信先を柔軟に確定することが出来ます。

図 1.1-1 返信 FAX のイメージ



(2) FAX転送を実現します

受信したFAXドキュメント、スキャンしたドキュメントあるいは、フォルダーで入力されたドキュメントに対してFAX転送が実現できます。

転送先はOCR実行した結果など、ApeosWare Flow Managementが提供する属性情報を全て活用可能です。固定の転送先も指定可能です。

また、同報も可能としています。

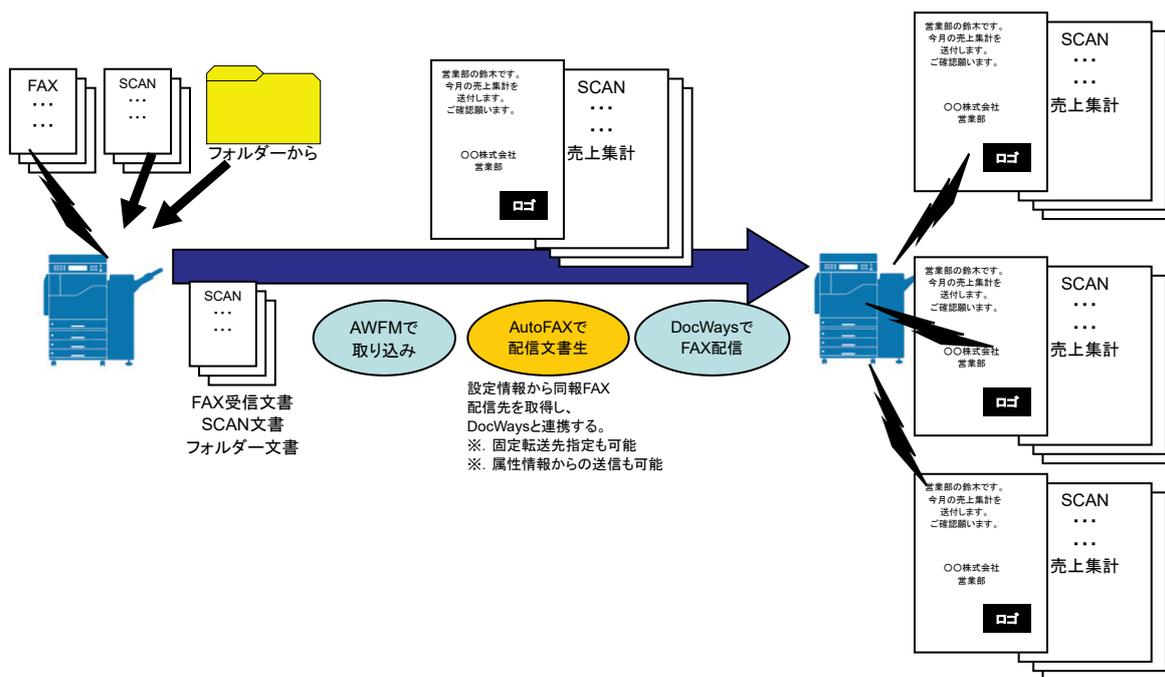
図 1.1-2 FAX 転送のイメージ



(3) FAX配信を実現します

受信したFAXドキュメント、スキャンしたドキュメントあるいは、フォルダーで入力されたドキュメントに対してFAX配信が実現できます。
送付ページを付加して、任意のページのみを配信することも可能としています。

図 1.1-3 FAX 配信のイメージ



(4) その他、設定の組み合わせでFAX送信ソリューションを実現します

実際のFAX送信は連携するDocWaysにより、複合機を有効活用した効率の良い出力を実現します。

FAX送信の送信先となる情報はApeosWare Flow Managementが提供する全ての属性を活用することが出来ます。また、個別指定、同報指定も可能としています。

FAX送信先（番号）を特定する際に、任意のCSV形式ファイルを活用して変換可能としています。

任意のページのみを送信、任意の送付シートを付加しての送信、任意のコメント、FAX受信した日時、ページ数などを付加した送信も可能としています。

設定時に送信イメージをプレビュー可能です。

2. 動作環境とソフトウェア構成

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementの動作環境とソフトウェア構成について説明します。

2.1 動作環境

OS	<ul style="list-style-type: none">• Windows 10 Pro (64 ビット) 日本語版• Windows 11 Pro (64 ビット) 日本語版• Windows Server 2016 Standard (64 ビット) 日本語版• Windows Server 2019 Standard / Datacenter (64 ビット) 日本語版• Windows Server 2022 Standard / Datacenter (64 ビット) 日本語版• Windows 10 Pro (64 ビット) 英語版• Windows 11 Pro (64 ビット) 英語版• Windows Server 2016 Standard (64 ビット) 英語版• Windows Server 2019 Standard / Datacenter (64 ビット) 英語版• Windows Server 2022 Standard / Datacenter (64 ビット) 英語版
CPU	<u>サーバーOS</u> ※ApeosWare Flow Management の動作推奨環境に準拠します。 <u>クライアントOS</u> ※ApeosWare Flow Management の動作推奨環境に準拠します。
メモリ	※ApeosWare Flow Management の動作推奨環境に準拠します。
HDD	20GB 以上の空き容量 ※使用する OS 側の制限または、運用環境により必要なハードディスクの容量が変更になる場合があります。
ブラウザ	Microsoft Edge Mozilla FireFox ※Microsoft Internet Explorer は動作保証外となりますのでご注意ください。
.NET	.NET 8

2.2 ソフトウェア構成

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementを稼働させるには、以下のソフトウェアが必要です。

(1) ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management

FUJIFILM ApeosWare Flow Managementの配信先として機能するソフトウェアです。

DocWaysと連携することによって複合機を活用した自動FAX送信／返信を実現します。

(2) ACEL DocWays

複合機や多機能プリンタ等を活用した、ドキュメントサーバーシステムです。

※FAX機能付きのACEL DocWays Ver.4.0.4以上が必要です。

(3) FUJIFILM ApeosWare Flow Management

異なるフォーマットの文書を自動的に管理・配信することが可能なソフトウェアです。

(4) FUJIFILM DocuWorks Desk

異なるアプリケーションで作成されたデータや紙文書を束ねて1文書にし、順序の並び替えや簡単な編集、一括プリントを可能にしたソフトウェアです。

以下のバージョンをお使いください。

FUJIFILM DocuWorks Desk Ver.9.1.5以上

FUJIFILM DocuWorks Desk Ver.10.0以上

※ハードウェア構成は、ApeosWare Flow ManagementとDocWaysのソフトウェア動作環境が別コンピューター上での稼働を推奨します。

3. インストール

インストール方法を説明します。

インストールの前に「2. 動作環境とソフトウェア構成」の章を参照してインストールの準備が整っているかどうか確認しておいてください。

インストール用のファイルは圧縮されています。そのままの状態ではご使用になれません。必ずインストーラーから実行してください。

3.1 インストールの前提条件

.NET 8 がインストールされている必要があります。

.NET 8 より古いバージョンの.NET がインストールされている場合、古い.NET をアンインストールしてください。

※ 旧バージョンの.NET がインストールされていない場合、または、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management 以外の製品が旧バージョンの.NET を使用している場合、アンインストールは不要です。

[スタートメニュー]から[コントロール パネル]・[プログラムと機能]を開き、下記のアンインストールを行ってください。

- ・ Microsoft .NET x.x.x - Windows Server Hosting
- ・ Microsoft .NET Runtime - x.x.x (x64)
- ・ Microsoft .NET Runtime - x.x.x (x86)
- ・ Microsoft .NET SDK x.x.x (x64)
- ・ Microsoft ASP.NET Core x.x.x - Shared Framework (x64)
- ・ Microsoft ASP.NET Core x.x.x - Shared Framework (x86)

※ x.x.x はアンインストールする.NET のバージョン情報です。

その後、以下の.NET 8 のランタイムインストーラーを Microsoft 社のページ (<https://dotnet.microsoft.com/ja-jp/download/dotnet/>)からダウンロードしてインストールしてください。

- ・ ASP.NET Core ランタイム - Windows Hosting Bundle Installer
[ASP.NET Core ランタイム] -> [Windows] -> [Hosting Bundle]を選択してください。
- ・ .NET Runtime - Windows x64 Installer
[.NET Runtime] -> [Windows] -> [x64]を選択してください。

3.2 新規インストール

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management をインストールする前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

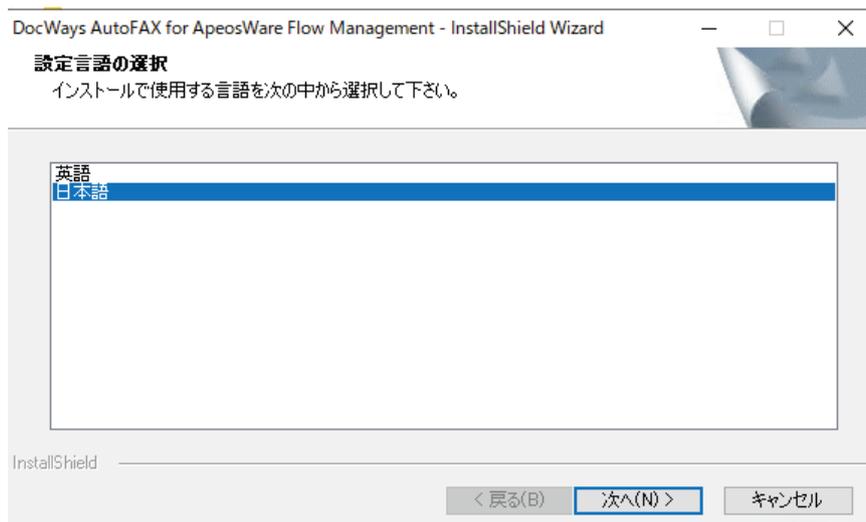
インストールを途中で終了した場合、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management は正しく動作いたしません。再度インストールを実行してください。

ApeosWare Flow Management が稼働している状態でインストールを実行してください。

ApeosWare Flow Management が稼働していない状態でインストールを実行すると、インストールに失敗します。

操作1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動してください。「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

図 3.2-1 設定言語の選択画面



<次へ> ボタンをクリックしてください。「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

<キャンセル> ボタン インストールを中止します。

操作2. 「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

図 3.2-2 セットアップの事前確認メッセージ

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management – セットアップ ×



セットアップを開始します。
ApeosWare Flow Managementでの操作、およびジョブの処理が行われていないことを確認してから、セットアップを開始することをお勧めします。

OK

<OK> ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

操作3. 「ようこそ画面」が表示されます。

図 3.2-3 ようこそ画面

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management – セットアップ ×



**DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management
のセットアップへようこそ**

このセットアップウィザードは、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementをコンピューターにインストールします。[次へ] ボタンをクリックして、セットアップを続行してください。

<戻る(B)>

次へ(N)>

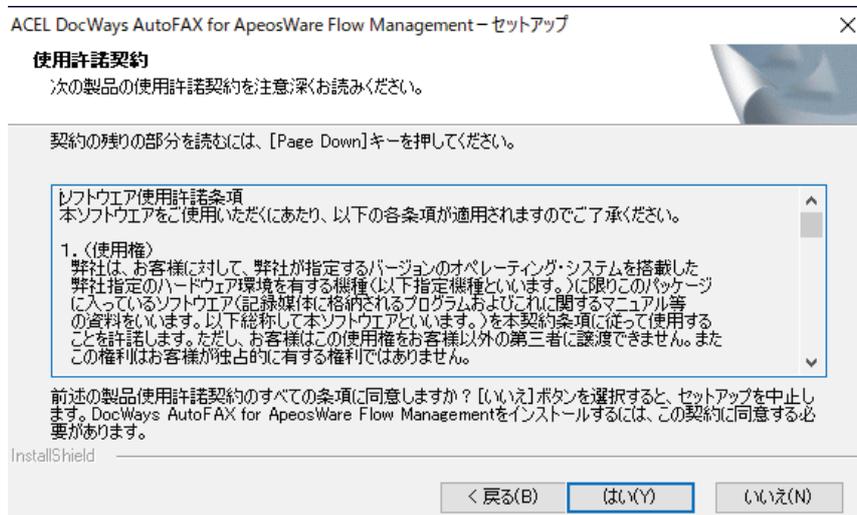
キャンセル

<次へ> ボタンをクリックしてください。「製品使用許諾契約画面」が表示されます。

<キャンセル> ボタン インストールを中止します。

操作4. 製品の使用許諾契約の内容を読んで製品のライセンスに同意してください。
ライセンスに同意しない場合はインストールを続行することはできません。

図 3.2-4 製品使用許諾契約画面



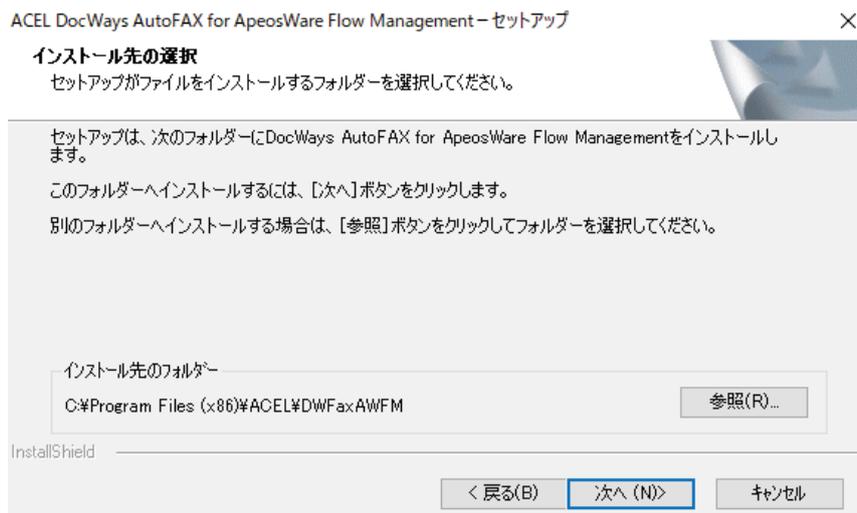
<はい>ボタンをクリックしてください。「インストール先の選択画面」が表示されます。

<戻る>ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

<いいえ>ボタン インストールを中止します。

操作5. インストール先のフォルダーを指定してください。

図 3.2-5 インストール先の選択画面



<次へ>ボタンをクリックしてください。「プログラムフォルダーの選択画面」が表示されます。

<戻る>ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

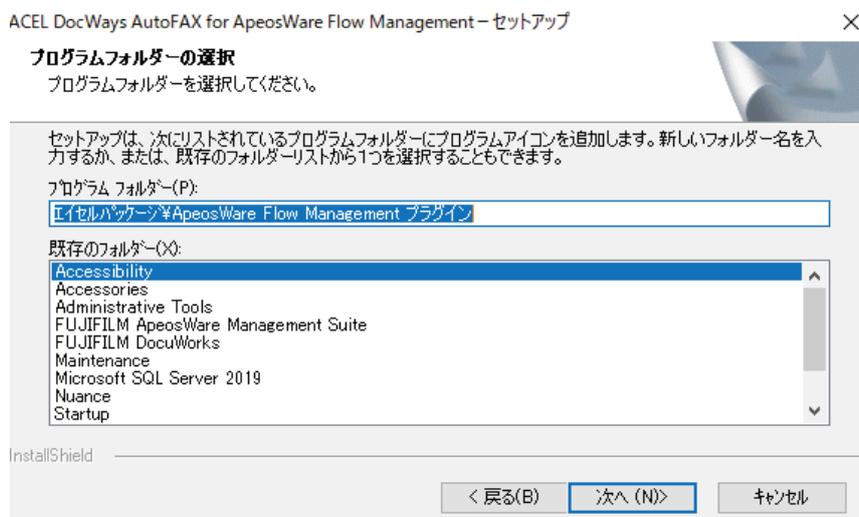
<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

初期設定のフォルダー以外のフォルダーにインストールを行う場合は、<参照> ボタンをクリックしてインストール先のフォルダーを指定してください。

操作6. プログラムフォルダーを選択してください。

初期設定は“エイセルパッケージ¥ApeosWare Flow Management プラグイン” になっています。

図 3.2-6 プログラムフォルダーの選択画面



<次へ> ボタンをクリックしてください。インストールを開始します。

<戻る> ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

<キャンセル> ボタン インストールを中止します。

初期設定のプログラムフォルダー以外のフォルダーを設定する場合には、下にある既存のフォルダーの一覧から選択してください。

操作7. 「インストールの完了画面」が表示されます。

図 3.2-7 インストールの完了画面



<完了>ボタンをクリックしてください。DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のインストールが終了します。

操作8. インストール後、「再起動確認画面」が表示されることがあります。その場合には、**必ずコンピューターを再起動してください。**

初期値は、“いいえ、あとでコンピューターを再起動します。”が選択されています。

図 3.2-8 再起動確認画面



再起動のタイミングを選択後、<完了>ボタンをクリックしてください。

インストール後にディレクトリ構成の変更や、ファイルの削除・移動を行わないでください。この場合、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の動作保証はいたしません。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Ver1.2 のインストール後は必ずマシンの再起動を行なってください。マシンの再起動を行わない場合、動作保証はいたしません。

3.3 上書きインストール

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を再インストールする方法について説明します。

起動している他のプログラムがあれば、すべて終了してください。

以下の手順を実行後、ApeosWare Flow Management が稼働している状態でインストールを実行してください。

ApeosWare Flow Management が稼働していない状態でインストールを実行すると、インストールに失敗します。

- (1) ApeosWare Flow Management のすべてのフローに対して「フローの無効化」を実施し、「ジョブ管理」画面ですべてのジョブが終了した事を確認します。
- (2) コンピューターを再起動します。
- (3) ApeosWare Flow Management が操作可能である事を確認します。

この時、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の設定画面を開かないでください。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management の設定画面を開いた場合は、手順 (2) に戻ってください。

操作 1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動してください。「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

図 3.3-1 セットアップの事前確認メッセージ



<OK> ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

操作2. 「ようこそ画面」が表示されます。

図 3.3-2 ようこそ画面



操作3. 「修正」が選択されていることを確認したのち、
<次へ>ボタンをクリックしてください。上書きインストールを開始します。
<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

操作4. 「インストールの完了画面」が表示されます。

図 3.3-4 インストールの完了画面



<完了>ボタンをクリックしてください。DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のインストールが終了します。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Ver1.2 の上書きインストール後は必ずマシンの再起動を行なってください。マシンの再起動を行わない場合、

動作保証はいたしません。

操作5. インストールの途中で、「削除エラーのメッセージ」が表示されることがあります。

その場合には、**必ずコンピューターを再起動してください。**

図 3.3-5 再起動確認画面

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management – セットアップ ×



モジュールの削除中にエラーが発生しました。
セットアップを中止します。
コンピューターを再起動することにより改善する可能性がありますので一度お
試しください。

OK

<OK> ボタンをクリックしてください。

4. アンインストール

アンインストールの方法を説明します。

アンインストール前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

以下の手順を実行後、ApeosWare Flow Management が稼働している状態でアンインストールを実行してください。

ApeosWare Flow Management が稼働していない状態でアンインストールを実行すると、アンインストールに失敗します。

- (1) ApeosWare Flow Management のすべてのフローに対して「フローの無効化」を実施し、「ジョブ管理」画面ですべてのジョブが終了した事を確認します。
- (2) コンピューターを再起動します。
- (3) ApeosWare Flow Management が操作可能である事を確認します。

この時、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managenet の設定画面を開かないでください。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managenet の設定画面を開いた場合は、手順 (2) に戻ってください。

操作 1.

Windows 10、Windows 11、Windows Server 2019、Windows Server 2022 の場合

[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [プログラムと機能] をクリックします。

「プログラムと機能」画面が表示されます。

[プログラムのアンインストールまたは変更] から“ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management” を選択して、<アンインストール> ボタンをクリックしてください。

「セットアップの事前確認メッセージ」が表示されます。

図 4.1 セットアップの事前確認メッセージ

ACEL DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management – セットアップ ×



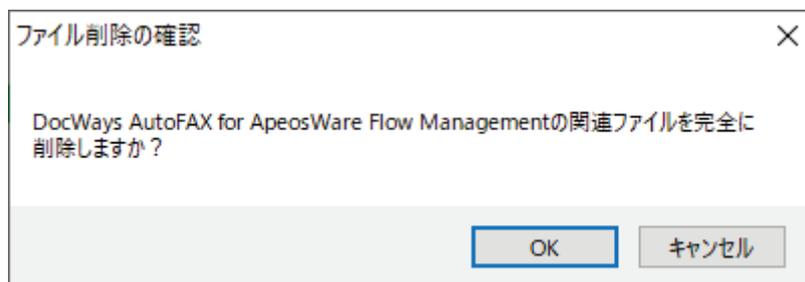
セットアップを開始します。
ApeosWare Flow Managementでの操作、およびジョブの処理が行われていないことを確認してから、セットアップを開始することをお勧めします。

OK

<OK> ボタンをクリックしてください。「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

操作 2. 「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

図 4.2 ファイル削除の確認画面

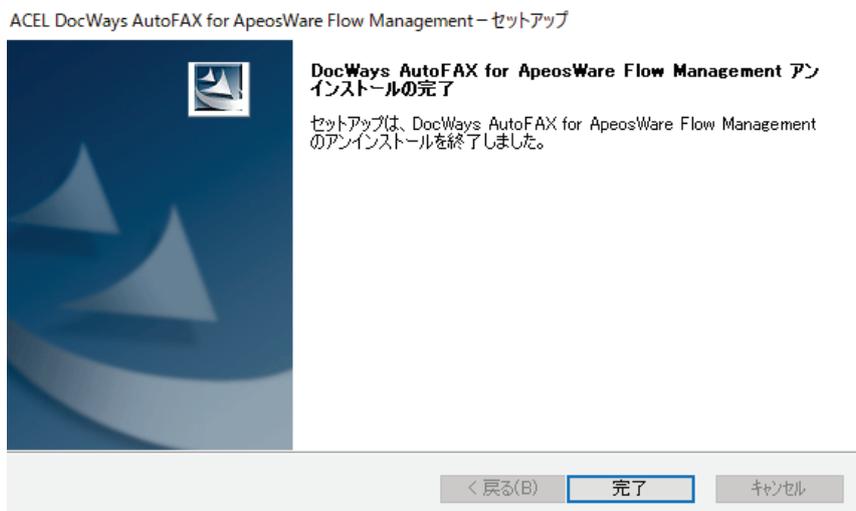


<OK> ボタン DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management
のアンインストールを開始します。

<キャンセル> ボタン アンインストールを中止します。

操作 3. 「アンインストールの完了画面」が表示されます。

図 4.3 アンインストールの完了画面



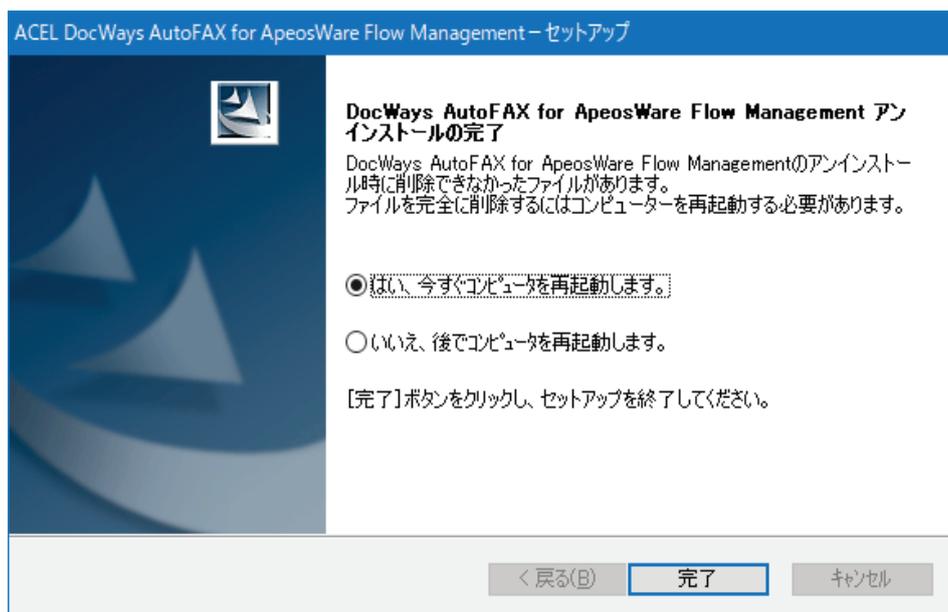
<完了> ボタン DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のアン

インストールが終了します。

操作4. アンインストール後、「再起動確認画面」が表示されることがあります。その場合には、**必ずコンピューターを再起動してください。**

初期値は、“はい、今すぐコンピューターを再起動します。”が選択されています。

図 4.4 再起動確認画面



再起動のタイミングを選択後、<完了>ボタンをクリックしてください。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Ver1.2 のアンインストール後は必ずマシンの再起動を行なってください。

操作5. アンインストールの途中で、「削除エラーのメッセージ」が表示されることがあります。その場合には、**必ずコンピューターを再起動してください。**

図 4.5 再起動確認画面



<OK>ボタンをクリックしてください。

操作6. アンインストールする前に DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のサービスが起動していない場合は、「サービス停止状態のエラーメッセージ」が表示されます。その場合には、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を開始し、再度アンインストールをお試しください。

図 4.6 サービス停止状態のエラーメッセージ



<OK> ボタンをクリックしてください。

5. 使い方

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management を使用して、DocWaysからFAX送信を実行する手順について説明します。

次の手順に従ってApeosWare Flow Managementのフロー情報を作成することで、ApeosWare Flow ManagementとDocWaysを連携してFAX送信を実行することができるようになります。

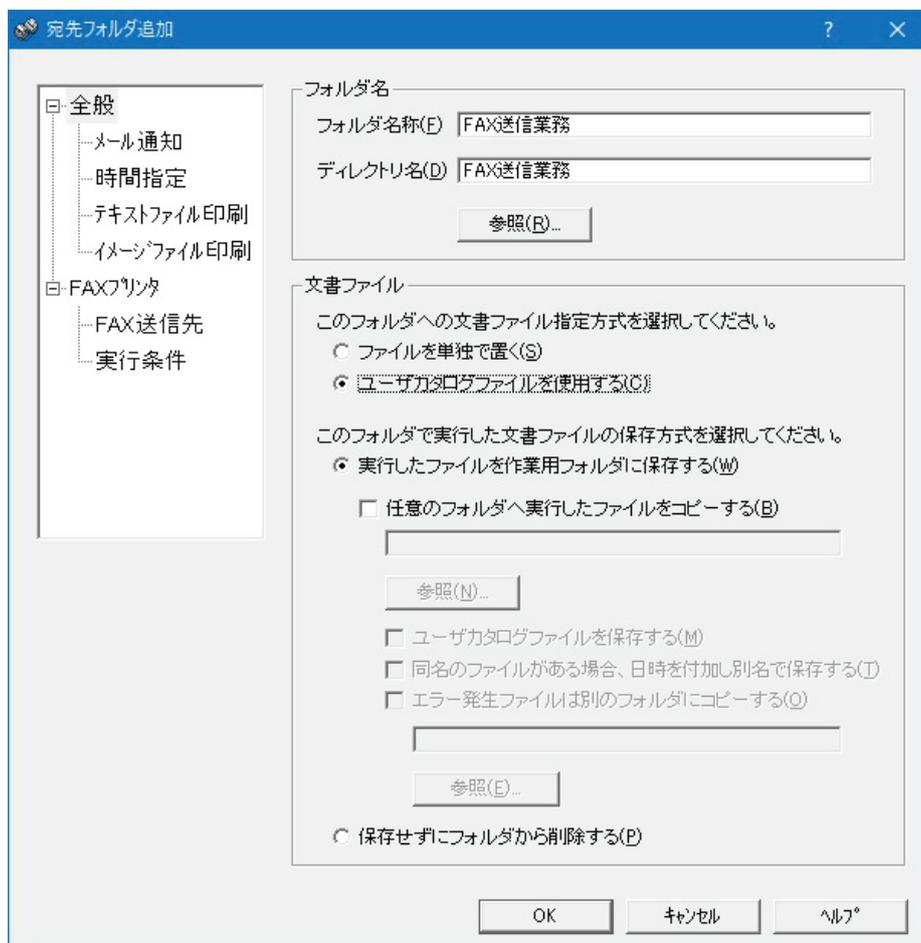
1. DocWaysの宛先フォルダーを作成する
2. ApeosWare Flow Managementにフローを追加する
3. 追加したフローにFAX送信を行うための基本情報を設定する
4. FAX送信する文書の内容について設定する

5.1 DocWays の宛先フォルダーを作成する

ApeosWare Flow ManagementからDocWaysを連携させてFAX送信を実行するためには、DocWaysにFAX送信業務を実行する宛先フォルダーを作成しなければなりません。

ここでは、宛先フォルダーの設定方法について説明します。

図 5.1 DocWays の宛先フォルダーを作成



- (1) DocWays を起動し、「宛先フォルダーの追加」を実行します。
- (2) 宛先フォルダーの全般項目を設定します。
 - ①フォルダー名称を指定します。
 - ②文書ファイル指定方式として、[ユーザカタログファイルを使用する] ラジオボタンを選択します。この設定は必須です。
 - ③文書ファイルの保存方式を選択します。送信したDocuWorks文書を保存することができます。また、エラーが発生したDocuWorks文書を別のフォルダーに保存することができます。
 - ④必要であれば「時間指定」にて実行する時間帯を指定します。

(3) FAX 送信業務に関する基本項目を設定します。

①使用するFAXプリンタを選択します。

②実行条件を指定します。分散送信および、保証送信（再送信）を実行するかどうか指定します。

(4)「宛先フォルダーの追加」を終了します。FAX 送信業務を実行する宛先フォルダーが作成されます。

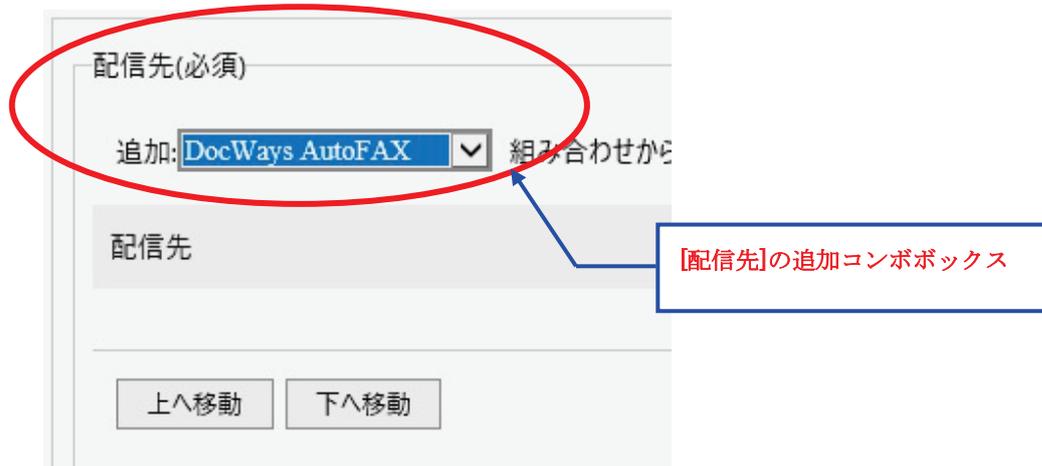
※詳細については、DocWays のヘルプまたは、マニュアルをご参照ください。

5.2 ApeosWare Flow Management にフローを追加する

ApeosWare Flow Managementのフロー情報に“DocWays AutoFAX”を追加する方法について説明します。

ここでは、フローの追加方法について説明します。

図 5.2 ApeosWare Flow Management にフローを追加



- (1) ApeosWare Flow Management を起動し、[フロー一覧] - [新規作成] を選択します。
- (2) 「フローの新規作成」画面が表示されます。
- (3) [配信先] の追加コンボボックスから“DocWays AutoFAX”を選択します。
- (4) 「DocWays AutoFAX 設定」画面を表示します。
- (5) FAX 送信および文書に関する設定を行い、「フローの新規作成」画面に遷移します。
- (6) [配信先] リストに追加した“DocWays AutoFAX”の登録名が表示されます。
この登録名は、「DocWays AutoFAX 設定」画面の [名称] 表示ボックスで変更できます。

5.3 追加したフローに FAX 送信を行うための基本情報を設定する

「DocWays AutoFAX設定」画面におけるFAX送信を行うための基本情報の設定について説明します。

ここでは、送信を実行するDocWaysの宛先フォルダーやFAX番号の取得方法について説明しています。

図 5.3 FAX 送信を行うための基本情報を設定

DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定

名称：
DocWays AutoFAX

基本情報 | 文書情報 | バージョン情報

Docways 設定 | 送信先FAX番号設定

DocWays宛先フォルダーに関する内容を設定します。

連携するDocWays情報(必須):

ユーザー名(必須):

パスワード(必須):

パスワードの確認(必須):

接続確認

(1) 宛先フォルダーの設定

(2) ユーザー名とパスワードの入力

(1) 送信を実行する DocWays の宛先フォルダーを設定します。

①DocWaysの宛先フォルダーを[¥¥サーバー名¥DocWays共有フォルダー名¥宛先フォルダー名]の形式で指定します。この設定は必須です。

(2) DocWays がインストールされているサーバーにログインするためのユーザー名とパスワードを設定します。この設定は必須です。

①DocWaysの共有フォルダーにアクセス可能なユーザー名とパスワードを指定してください。

② DocWays の共有フォルダー名とユーザー名、パスワードを指定した後、[接続確認] ボタンを押して、接続を確認してください。

5.4 送信先の FAX 番号を設定する

「DocWays AutoFAX設定」画面におけるFAX送信を行うための基本情報の設定について説明します。

ここでは、送信を実行するDocWaysの宛先フォルダーやFAX番号の取得方法について説明しています。

図 5.4 FAX 番号を設定

The screenshot shows the 'DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定' window. It has tabs for '基本情報', '文書情報', and 'バージョン情報'. The '送信先FAX番号設定' sub-tab is active. The main content area is titled '送信先のFAX番号を設定します。' and contains three callout boxes:

- (1) 送信先の指定方法の入力**: Points to the '属性を使用する' radio button and the '属性1' text input field.
- (2) 送信先を CSV から検索するための設定**: Points to the '送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する' checked checkbox and the '元のデータ形式' section with radio buttons for 'タブによって区切られたデータ' and 'カンマによって区切られたデータ'.
- (3) エラー時の設定**: Points to the 'FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続ける' checkbox.

(1) 送信先の FAX 番号、または FAX 番号を特定するための元となる情報（FAX 番号情報）について設定します。以下の指定が可能です。

a. 発信者IDを使用する

ApeosWare Flow Managementの[ボックス]を通して取得した文書の[発信者ID]属性をFAX番号として指定します。

[発信者ID]をFAX番号とせずに宛先変換キーとして使用することもできます。

b. 属性を使用する

ApeosWare Flow Managementの提供する各属性の中から任意の属性をFAX番号として指定します。

ApeosWare Flow Managementの「フローの新規作成」画面の [取り込み元]、[加工方法] で設定された機能の属性から選択できます。
共通属性を指定することもできます。

c.直接指定する

FAX番号情報を直接指定する方式です。

同報FAX送信を行う場合は、FAX番号を「; (半角セミコロン)」で区切って設定します。

(2) FAX 番号の指定方式として、任意の CSV 形式ファイルを読み込み、AWFM から取得した属性情報とマッチする FAX 番号を特定します。

①CSV形式ファイルのデータを区切る形式を指定してください。検索するファイルは、すぐ下のリストボックスから選択してください。リストボックスに表示するにはファイルをインストールフォルダー配下のフォルダー (C:\Program Files (x86)\ACEL\DWFaxAWFM\CSV) に格納してください。

②宛先変換キー／FAX番号の検索元となる列を指定してください。

宛先変換キーは、列番号を選択して[宛先変換キー==>]ボタンを押すと、設定できます。

FAX番号は、列番号を選択して[FAX番号==>]ボタンを押すと、設定できます。

(3) FAX 番号が見つからなかった場合、処理を続行するか指定します。

5.5 FAX 送信する文書の内容について設定する

「DocWays AutoFAX設定」画面における文書情報の設定について説明します。

ここでは、DocWaysの宛先フォルダーに格納する文書、つまりFAX送信文書についてどのような文書を作成するのかについて説明しています。

図 5.5 FAX 送信する文書の内容について設定

DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定

名称:
DocWays AutoFAX

基本情報 文書情報 バージョン情報

文書内容設定 コメントの設定

ここでは、送信する文書の内容について設定します。

送信文書の内容
元の文書をそのまま送信する

元文書の任意のページを貼り付ける

すべてのページを送信する
 指定したページを送信する

連続ページが元文書のページよりも大きい場合、元文書の最終ページに置き換える

(1) DocWays の宛先フォルダーに格納する DocuWorks 文書の種類を設定します。

以下の指定が可能です。

a.元の文書をそのまま送信する

ApeosWare Flow Management から取り込んだ DocuWorks 文書をそのまま宛先フォルダーに格納します。

指定したページのみを抽出し束ねて格納することもできます。

b.新しいページを作成して、そのページを送信する

1 ページからなる新規 DocuWorks 文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。

c.新しいページを作成し、元の文書の先頭に合成して送信する

ApeosWare Flow Management から取り込んだ DocuWorks 文書の先頭にページを挿入して、宛先フォルダーに格納します。

d.新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する

ApeosWare Flow Management から取り込んだ DocuWorks 文書をイメージとして貼り付けた新規 DocuWorks 文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。

(2) 送信する元文書 (ApeosWare Flow Management が取り込んだ DocuWorks 文書)

のページ指定を行います。元文書を、そのまま DocWays の宛先フォルダーに格納するか、または指定したページのみを抽出して送信するのかを指定します。

以下の指定が可能です。

a.全てのページを指定する

元文書の全ページを送信の対象とします。

b.選択したページを指定する

元文書から指定したページのみを抽出し、送信の対象とします。

(3) 新しく作成するページの内容について指定します。以下の指定が可能です。

a.背景のイメージとして、任意のテンプレート文書を使用する

背景のイメージとして、任意のテンプレート文書を使用しない場合、新しい DocuWorks 文書は A4 たてとなります。

b.特定のページをイメージとして貼り付ける

イメージは、ページ指定として [ページ]、[縮小率]、貼り付け位置として [上から]、[左から] を指定することができます。

c.コメントを付加する

新しく作成するページに任意のコメントを指定することができます。

(4) 新しく作成するページの表示イメージをブラウザ上で確認することができます。

6. 画面の説明

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementで使用する「DocWays AutoFAX 設定」画面について説明します。

「DocWays AutoFAX設定」画面は、DocWays AutoFAX のフロー情報を設定するための画面です。

図 6. 「DocWays AutoFAX 設定」画面

DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定

OK キャンセル

名称:
DocWays AutoFAX

基本情報 文書情報 バージョン情報

Docways 設定 送信先FAX番号設定

DocWays宛先フォルダに関する内容を設定します。

連携するDocWays情報(必須):
ユーザー名(必須):
パスワード(必須):
パスワードの確認(必須):

接続確認

OK キャンセル

(1) [基本情報]タブ

機能

- ・送信を実行するDocWaysの宛先フォルダの設定や、FAX番号の取得方法について設定します。

(2) [文書情報]タブ

機能

- ・DocWaysの宛先フォルダに格納するFAX送信文書についてどのような文書を作成するのかを設定します。

(3) [バージョン情報]タブ

機能

- ・AutoFAX DocWays のバージョン情報が確認できます。

(4) [OK] ボタン

機能

- ・設定内容を保存しフローの編集画面へ遷移します。
- ・プロパティ表示時は、表示されません。

(5) [キャンセル] ボタン

機能

- ・処理を中断しフローの編集画面へ遷移します。
- ・プロパティ表示時は、表示されません。

(6) [名称] 表示ボックス

機能

- ・[フローの編集]の[配信先]リストに設定した登録名が表示されます。
- ・“ ’ < > & タブは使用できません。

操作

- ・最大 512 字(半角相当)まで指定可能です。
- ・初期値 = "DocWays AutoFAX"です。

6.1 「基本情報」タブ

「基本情報」タブは、送信を実行するDocWaysの宛先フォルダーの設定や、FAX番号の取得方法について設定するための画面です。

6.1.1 「DocWays 設定」画面

「DocWays 設定」画面は、DocWays の宛先フォルダーを設定するための画面です。

「DocWays AutoFAX設定」画面にて「基本情報」タブを選択してください。図6.1.1の画面を表示します。画面および操作について説明します。

図 6.1.1 「基本情報」タブ-[DocWays 設定]タブ

DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定

OK キャンセル

名称:
DocWays AutoFAX

基本情報 文書情報 バージョン情報

Docways 設定 送信先FAX番号設定

DocWays宛先フォルダーに関する内容を設定します。

連携するDocWays情報(必須):

ユーザー名(必須):

パスワード(必須):

パスワードの確認(必須):

接続確認

OK キャンセル

(1) [連携する DocWays 情報] 入力ボックス

機能

- ・使用するDocWaysのネットワーク共有フォルダー名(宛先フォルダー)を表示します。
- ・「サーバー名」「共有フォルダー名」を¥¥つきで表示します。

例) ¥¥servername¥¥foldername

操作

- ・「サーバー名」「共有フォルダー名」を入力します。
- ・この操作は必須です。

(2) [ユーザー名]入力ボックス

機能

- ・DocWaysで使用しているネットワーク共有フォルダー(宛先フォルダー)にアクセスするためのユーザー名を入力します。
- ・「DocWaysサーバー名設定」画面で設定したネットワーク共有フォルダーに対して、アクセス権のある(ファイルの読み書きが可能な)ユーザー名を指定してください。
- ・ドメイン名が必要な場合、ユーザー名の前にドメイン名とバックスラッシュ(¥)を付けます。

例) mydomain¥username

操作

- ・最大256字(半角相当)まで指定可能です。
- ・この操作は必須です。

(3) [パスワード]入力ボックス

機能

- ・DocWaysで使用しているネットワーク共有フォルダー(宛先フォルダー)にアクセスするためのパスワードを入力します。

操作

- ・最大128字(半角相当)まで指定可能です。

(4) [パスワードの確認]入力ボックス

機能

- ・[パスワード]に入力した文字列をもう一度入力します。

操作

- ・最大128字(半角相当)まで指定可能です。

(5) [接続確認]ボタン

機能

- ・DocWaysサーバーと接続確認を行います。[連携するDocWays情報]、[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの確認]がすべて入力済みであることが必要です。

操作

- ・[接続確認]ボタンを押します。

6.1.2 「送信先 FAX 番号設定」画面

「送信先 FAX 番号設定」画面は、送信する FAX 番号の指定方法を設定するための画面です。

図 6.1.2.1 [基本情報]タブ-[送信先 FAX 番号設定]タブ

DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定

名称: DocWays AutoFAX

基本情報 | 文書情報 | バージョン情報

DocWays 設定 | 送信先FAX番号設定

送信先のFAX番号を設定します。
送信先を指定するための設定をここで行います。

発信者IDを使用する

属性を使用する
属性1 [] 選択

直接指定する
11 []

送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する
元のデータ形式

CSV形式ファイルのデータを区切る形式を選択してください。

タブによって区切られたデータ

カンマによって区切られたデータ

AddressList.csv [v]

宛先変換キー／FAX番号の検索元となる列をレビューより選択してください。
項目毎に、最大1つまで選択できます。

No.	データ	No.	データ
<input checked="" type="radio"/> 1	ID	1	ID
<input type="radio"/> 2	名前		
<input type="radio"/> 3	ふりがな		
<input type="radio"/> 4	社名		
<input type="radio"/> 5	部署		
<input type="radio"/> 6	住所		
<input type="radio"/> 7	FAX番号	<input checked="" type="radio"/> 7	FAX番号
<input type="radio"/> 8	外線/内線		
<input type="radio"/> 9	電話番号		
<input type="radio"/> 10	電子メール		
<input type="radio"/> 11	性別		
<input type="radio"/> 12	コメント		

FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する

(1) [送信先を指定するための設定をここで行います]グループ

送信先のFAX番号または、FAX番号を特定するための元となる情報(FAX番号情報)を指定します。

- ① [発信者 ID を使用する]ラジオボタン
機能

- ・ApeosWare Flow Managementの[ボックス]を通して取得した文書の[発信者ID]属性からFAX番号を取得するかどうかを指定します。
- ・[取り込み元]に[ボックス]が設定されていない場合、選択できません。

操作

- ・ApeosWare Flow Managementの[ボックス]を通して取得した文書の[発信者ID]属性からFAX番号を取得する場合にチェックします。

②[属性を使用する]ラジオボタン

機能

- ・[取り込み元]および、[加工方法]で設定した各機能の属性の中から任意の属性を指定し、その属性からFAX番号を取得するかどうかを指定します。

操作

- ・[取り込み元]および、[加工方法]で設定した各機能の属性の中から任意の属性を指定し、その属性からFAX番号を取得する場合にチェックします。

図 6.1.2.2 [基本情報]タブ-[属性を使用する]

送信先のFAX番号を設定します。

発信者IDを使用する

属性を使用する
共通属性:ジョブ受付日時 選択

直接指定する
03-1234-5678

③[属性を使用する]表示ボックス

機能

- ・使用する属性を表示します。
- ・[選択]ボタンで設定した属性を表示します。

図 6.1.2.3 [基本情報]タブ-[属性設定]画面

DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定 - 属性設定

属性から指定する

属性	設定元
<input type="radio"/> プラグイン名	フォルダ
<input type="radio"/> ユーザー名	フォルダ
<input type="radio"/> ディレクトリ	フォルダ
<input type="radio"/> オリジナル文書名	フォルダ
<input checked="" type="radio"/> ジョブ受付日時	共通属性
<input type="radio"/> ジョブフローのUser ID	共通属性

文字数を制限する (1~32の数値)

任意の文字列で指定する (32文字以内)

入力できない文字: : * ? " < > |

④ 注意)

④ [選択] ボタン

機能

- ・ [属性を使用する] ラジオボタンをチェックした場合に、属性を指定します。
- ・ [取り込み元] および、[加工方法] で設定された各機能の属性を表示します。

操作

- ・ [選択] ボタンを押すと、「属性設定」画面が表示されます。
- ・ 「属性設定」画面で、属性を指定します。

注意)

- ※ 「属性設定」画面内の [文字数を制限する (1~32の数値)]、[任意の文字列で指定する (32文字以内)] の項目は本製品では使用できません。

⑤ [直接指定する] ラジオボタン

機能

- ・ 直接情報を指定し、その値からFAX番号を取得するかどうかを指定します。

操作

- ・ 直接情報を指定し、その値からFAX番号を取得する場合にチェックします。

⑥ [直接指定する] 入力ボックス

機能

- ・ [直接指定する] ラジオボタンをチェックした場合に、FAX番号または、FAX番号を取得するためのキーを直接入力します。
- ・ 同報FAX送信を行う場合は、FAX番号を「;(半角セミコロン)」で区切ります。

例) 0311112222;0633334444;.....

操作

- ・最大512字(半角相当)まで指定可能です。
- ・FAX番号の入力については、「8. 注意／制限事項」の「8.1 FAX番号について」の項を参照してください。

(2) [送信先と CSV 形式ファイルから FAX 番号を検索する]チェックボックス

機能

- ・FAX番号の指定方式として、任意のCSV形式ファイルを読み込み、AWFMから取得した属性情報とマッチするFAX番号を特定するかどうかを指定します。

操作

- ・送信先とCSV形式ファイルからFAX番号を検索する場合に選択します。

(3) [元のデータ形式]グループ

CSV形式ファイルのデータを区切る形式を指定します。

① [タブによって区切られたデータ]ラジオボタン

機能

- ・タブ区切りのCSV形式ファイルを使用するかどうかを指定します。

操作

- ・タブ区切りのCSV形式ファイルを使用する場合にチェックします。

② [カンマによって区切られたデータ]ラジオボタン

機能

- ・カンマ区切りのCSV形式ファイルを使用するかどうかを指定します。

操作

- ・カンマ区切りのCSV形式ファイルを使用する場合にチェックします。

(4) [宛先変換キー／FAX 番号の検索元となる列をプレビューより選択してください]グループ

宛先変換キーとFAX番号の列をそれぞれ1つずつ指定します。

① [選択する列]ラジオボタン

機能

- ・宛先変換キーとFAX番号に使用する列を指定します。

操作

- ・使用する列をチェックします。

② [宛先変換キー=>] ボタン

機能

- ・宛先変換キーとして使用する列を指定します。

操作

・列を選択し、[宛先変換キー=>]ボタンを押すと右側に指定した列が表示されます。

③[FAX 番号=>]ボタン

機能

・FAX番号として使用する列を指定します。

操作

・列を選択し、[FAX番号=>]ボタンを押すと右側に指定した列が表示されます。

(5) [FAX 番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する]チェックボックス

機能

・FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行するかどうかを指定します。

操作

・FAX番号が見つからない場合、エラーとせずに処理を続行する場合に選択します。

6.2 [文書情報] タブ

「DocWays AutoFAX設定」画面にて [文書情報] タブを選択してください。図6.2.1の画面を表示します。画面および操作について説明します。

6.2.1 「文書内容設定」画面

「文書内容設定」画面は、DocWays の宛先フォルダーに格納する文書、つまり FAX 送信文書についてどのような文書を作成するのかを設定するための画面です。

図 6.2.1 [文書情報]タブ-[文書内容設定]タブ

The screenshot shows a dialog box titled 'Document Content Settings' with three tabs: 'Basic Information', 'Document Information', and 'Page Information'. The 'Document Information' tab is selected. Below the tabs, there are three sub-sections:

- 送信文書の内容**: A dropdown menu set to '新しいページを作成し、元の文書...'. Below it, a section for '元文書の任意のページを貼り付ける' (Paste any page from the original document) with radio buttons for 'すべてのページを送信する' (Send all pages) and '指定したページを送信する' (Send specified pages). The second option is selected, and a text box contains '1-3,4'. A checked checkbox below reads '連続ページが元文書のページよりも大きい場合、元文書の最終ページに置き換える' (If consecutive pages are larger than the original document's pages, replace with the final page of the original document).
- 新しく作成するページの内容について設定します。** (Set the content of the newly created page.) This section has two checked checkboxes: '背景にテンプレート文書を使用する' (Use template document as background) with a dropdown 'ファイルを選択してください...' (Select a file...), and '元文書の任意のページを貼り付ける' (Paste any page from the original document). Below this is a '貼り付けるページ' (Paste page) section with input fields for 'ページ(1~999):' (1), '縮小率(25~100%):' (50), and a '貼り付け位置' (Paste position) section with input fields for '上から(0~500mm):' (10) and '左から(0~500mm):' (20).

At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

(1) [送信文書の内容]コンボボックス

機能

- ・DocWaysの宛先フォルダーに格納するDocuWorks文書の種類を設定します。

操作

- ・次の種類が選択できます。

①元の文書をそのまま送信する

ApeosWare Flow Managementから取り込んだDocuWorks文書をそのまま宛先フォルダーに格納します。

②新しいページを作成して、そのページを送信する

1ページからなる新規DocuWorks文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。

③新しいページを作成し、元の文書の先頭に合成して送信する

ApeosWare Flow Managementから取り込んだDocuWorks文書の先頭にページを挿入して、宛先フォルダーに格納します。

④新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する

ApeosWare Flow Managementから取り込んだDocuWorks文書をイメージとして貼り付けた新規DocuWorks文書を作成し、宛先フォルダーに格納します。

(2) [すべてのページを送信する]ラジオボタン

機能

- ・DocuWorks文書の全てのページを、送信の対象とします。

操作

- ・DocuWorks文書をそのまま送信する場合に、チェックします。

(3) [指定したページを送信する]ラジオボタン

機能

- ・DocuWorks文書から指定したページのみを抽出し、送信の対象とします。

操作

- ・DocuWorks文書から、指定したページのみを抽出し送信する場合に、チェックします。

(4) [指定したページを送信する]入力ボックス

機能

- ・DocuWorks文書から、抽出するページを指定します。
- ・[指定したページを送信する]ラジオボタンがチェックされた場合のみ指定できます。

操作

- ・最大64字(半角相当)まで指定可能です。
- ・半角数字、「,(半角カンマ)」および、「-(半角ハイフン)」のみ入力可能です。

例)

1ページのみ

2 : 2ページ目の指定

単ページ毎の指定

1,2,5 : 1ページ目、2ページ目、5ページ目の指定

連続ページの指定

3-7 : 3ページ目から7ページ目までの指定

単ページ毎と連続ページの組み合わせ

1,3-7,2 : 1ページ目、3ページ目から7ページ目まで、2ページ目の指定

注意)

- ※ 単ページ指定の場合、指定したページが元文書のページ数よりも大きい場合、このページは対象外となります。

(5) [連続ページが元文書のページよりも大きい場合、元文書の最終ページに置き換える]チェックボックス

機能

- ・[指定したページを送信する]入力ボックスにおける連続ページの指定で、指定したページが実際のページ数よりも大きい場合、実際の最終ページに置き換えて処理するかどうかを指定します。

操作

- ・最終ページで置き換える場合を選択します。

注意

- ※ [送信文書の内容]コンボボックスで「元の文書をそのまま送信する」、「新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する」が選択されている場合は、常にONとなります。

(6) [背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックス

機能

- ・新しいDocuWorks文書(1ページ)を作成する際、テンプレート文書から取得した先頭ページを使用するかどうかを指定します。

操作

- ・新しいDocuWorks文書(1ページ)にテンプレート文書を使用する場合を選択します。
- ・[背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックスを選択した場合、テンプレート文書の指定が必要となります。

注意

- ※ 新しいページを作成する場合は、[背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックス、[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックス、「コメントの設定」画面ー[任意の文字列を貼り付ける]、[属性を貼り付ける]チェックボックスのうち、一つ以上がチェックされている必要があります。
- ※ [背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックスを選択しない場合は、新しいDocuWorks文書(1ページ)のサイズはA4たてとなります。

(7) [背景にテンプレート文書を使用する]コンボボックス

機能

- ・背景に使用するテンプレート文書を設定します。
- ・templateフォルダーにあるテンプレート文書のファイル名を表示します。

操作

- ・テンプレート文書を選択します。

(8) [元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックス

機能

- ・作成するページに、DocuWorks文書の特定のページ(イメージ)を貼り付けるかどうかを指定

します。

操作

- ・DocuWorks文書の特定のページ(イメージ)を貼り付ける場合に選択します。
- ・[ページ]入力ボックス、[縮小率]入力ボックス、[上から]入力ボックス、[左から]入力ボックスで貼り付けるページ・縮小率・貼り付け位置を指定します。

注意

- ※ 新しいページを作成する場合は、[背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックス、[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックス、「コメントの設定」画面－[任意の文字列を貼り付ける]、[属性を貼り付ける]チェックボックスのうち、一つ以上がチェックされている必要があります。
- ※ [送信文書の内容]コンボボックスで「新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する」が選択されている場合は、常にONとなります。

(9) [ページ]入力ボックス

機能

- ・[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページを指定します。

操作

- ・1～999ページの間で指定します。
- ・初期値＝1ページです。

注意

- ※ [送信文書の内容]コンボボックスで「新しいページを作成し、元の文書を合成して送信する」が選択されている場合は、ページの指定はできません。

(10) [縮小率]入力ボックス

機能

- ・[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページの縮小率を指定します。

操作

- ・25～100%の間で指定します。
- ・初期値＝50%です。

(11) [上から]入力ボックス

機能

- ・[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページの上からの位置を指定します。

操作

- ・0～500mmの間で指定します。

・初期値＝0mmです。

(12) [左から] 入力ボックス

機能

・[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックスを選択した場合に、貼り付けるページの左からの位置を指定します。

操作

・0～500mmの間で指定します。

・初期値＝0mmです。

6.2.2 「コメントの設定」画面

「コメントの設定」画面は、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management が新しく作成する DocuWorks 文書（1 ページ）にコメントを付加するための画面です。

図 6.2.2 「コメントの設定」画面

DocWays AutoFAX - DocWays AutoFAX設定

名称：
DocWays AutoFAX

基本情報 | 文書情報 | バージョン情報

文書内容設定 | コメントの設定 | 文書イメージ

ここでは、コメントの内容について設定します。

任意の文字列を貼り付ける

貼り付け位置

上から(0~500mm)：
111

左から(0~500mm)：
20

フォント名：
メイリオ

スタイル：
Regular

サイズ：
12

受信日時を含める
 受信ページ数を含める
 送信ページ数を含める

属性を貼り付ける

共通属性:ジョブ受付日時 | 選択

貼り付け位置

上から(0~500mm)：
155

左から(0~500mm)：
100

(1) [任意の文字列を貼り付ける]チェックボックス

機能

- ・作成するDocuWorks文書（1 ページ）に、任意文字列のコメントを貼り付けるかどうかを指定します。

操作

- ・コメントに任意の文字列を付加する場合にチェックします。

注意)

- ※ 新しいページを作成する場合は、[背景にテンプレート文書を使用する]チェックボックス、[元文書の任意のページを貼り付ける]チェックボックス、「コメントの設定」画面 - [任意の文字列を貼り付ける]、[属性を貼り付ける]チェックボックスのうち、一つ以上がチェックされている必要があります。

(2) [コメントの内容] 入力ボックス

機能

- ・[任意の文字列を貼り付ける]チェックボックスをチェックした場合に、貼り付けるコメントを指定します。
- ・[スタイル変更]ボタンでスタイル(フォント名、スタイル、サイズ)を設定することができます。

操作

- ・最大200字(半角相当)まで指定可能です。

(3) [フォント名] コンボボックス

機能

- ・使用するフォントを選択します。

操作

- ・選択したフォントをコメントに使用します。

(4) [スタイル] コンボボックス

機能

- ・使用するスタイルを選択します。

操作

- ・選択したスタイルをコメントに使用します。

(5) [サイズ] コンボボックス

機能

- ・使用するサイズを選択します。

操作

- ・選択したサイズをコメントに使用します。

(6) [上から] 入力ボックス

機能

- ・貼り付けるコメントの上からの位置を指定します。

操作

- ・0～500mmの範囲内で指定します。
- ・初期値＝0mmです。

(7) [左から] 入力ボックス

機能

- ・貼り付けるコメントの左からの位置を指定します。

操作

- ・0～500mmの範囲内で指定します。
- ・初期値＝0mmです。

(8) [受信日時を含める]チェックボックス

機能

- ・貼り付けるコメントにDocuWorks文書の受信日時を付加するかどうかを指定します。
- ・設定したコメントの下部に付加されます。
- ・親展ボックスに蓄積されたFAX文書の受付日時が付加されます。

注意)

- ※ フォント名、スタイル、フォントサイズの設定は引き継がれません。

操作

- ・受信日時を付加する場合にチェックします。

(9) [受信ページ数を含める]チェックボックス

機能

- ・貼り付けるコメントに受信ページ数を付加するかどうかを指定します。
- ・設定したコメントの下部に付加されます。
- ・DocuWorks文書の総ページ数が付加されます。

注意)

- ※ フォント名、スタイル、フォントサイズの設定は引き継がれません。

操作

- ・受信ページ数を付加する場合にチェックします。

(10) [送信ページ数を含める]チェックボックス

機能

- ・貼り付けるコメントに送信ページ数を付加するかどうかを指定します。
- ・設定したコメントの下部に付加されます。
- ・DocuWorks文書の総ページ数が付加されます。

注意)

- ※ フォント名、スタイル、フォントサイズの設定は引き継がれません。

操作

- ・送信ページ数を付加する場合にチェックします。

(11) [属性を貼り付ける]チェックボックス

機能

- ・作成するDocuWorks文書(1ページ)に、属性情報を貼り付けるかどうかを指定します。

操作

- ・コメントに属性情報を付加する場合にチェックします。

(12) [属性を貼り付ける]コンボボックス

機能

- ・[属性を貼り付ける]チェックボックスをチェックした場合に、属性を指定します。

- ・[取り込み元]および、[加工方法]で設定された各機能の属性を表示します。

操作

- ・「フローの新規作成/編集」画面の各種属性の中から任意の属性を選択します。

(13) [フォント名]コンボボックス

機能

- ・使用するフォントを選択します。

操作

- ・選択したフォントをコメントに使用します。

(14) [スタイル]コンボボックス

機能

- ・使用するスタイルを選択します。

操作

- ・選択したスタイルをコメントに使用します。

(15) [サイズ]コンボボックス

機能

- ・使用するサイズを選択します。

操作

- ・選択したサイズをコメントに使用します。

(16) [上から]入力ボックス

機能

- ・貼り付ける属性情報文字列の上からの位置を指定します。

操作

- ・0～500mmの範囲内で指定します。
- ・初期値＝0mmです。

(17) [左から]入力ボックス

機能

- ・貼り付ける属性情報文字列の左からの位置を指定します。

操作

- ・0～500mmの範囲内で指定します。
- ・初期値＝0mmです。

(18) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

(19) [キャンセル] ボタン

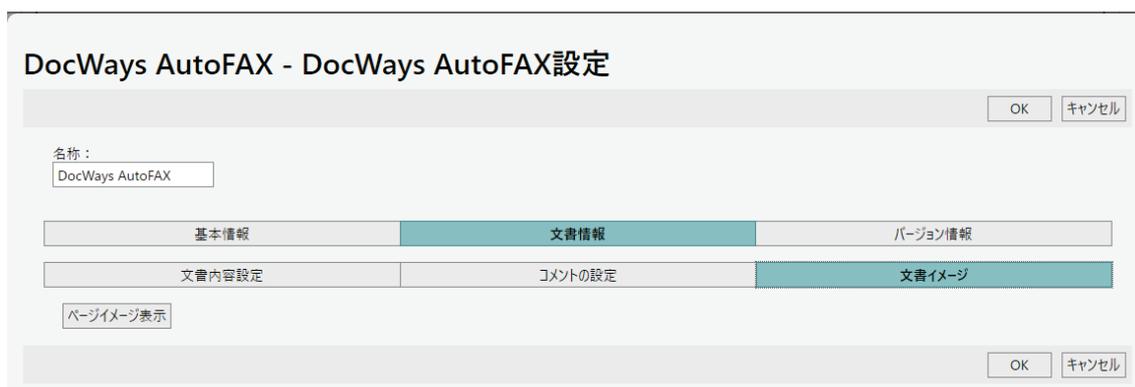
機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

6.2.3 「文書イメージ」画面

「文書イメージ」画面は、DocWays の宛先フォルダーに格納する文書、つまり FAX 送信する文書イメージのプレビューを表示するための画面です。

図 6.2.3 [文書情報]タブ-[文書イメージ]タブ



(1) [ページイメージ表示]ボタン

機能

- DocWaysの宛先フォルダーに格納するDocuWorks文書のイメージを表示します。

6.3 [バージョン情報] タブ

[バージョン情報] タブは、本製品のバージョンを確認するための画面です。

「DocWays AutoFAX設定」画面にて [バージョン情報] タブを選択してください。図6.3の画面を表示します。画面および操作について説明します。

図 6.3 [バージョン情報]タブ



(1) [バージョン情報]

機能

- ・本製品の製品名、バージョン情報、著作権が表示されます。

7. 実行結果ログ

7.1 実行結果ログ一覧

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementは、処理の実行結果をApeosWare Flow Managementへ通知します。この実行結果はApeosWare Flow Managementの「ジョブ管理」画面および、ログファイルにて確認できます。

ログファイルは以下の場所に出力されます。

ApeosWare Flow Management 1.xの場合)

<AWFMデータ格納先>¥awfm-geronimo¥var¥log¥AWFM-system-yyyy-mm-dd.log

ApeosWare Flow Management 2.xの場合)

<AWFMデータ格納先>¥Logs¥FM¥awfm-geronimo¥AWFM-system-yyyy-mm-dd.log

※<AWFMデータ格納先>はApeosWare Flow Managementのインストール時にご指定されたフォルダーです。

ApeosWare Flow Management 1.xの例)

C:¥Fuji Xerox¥ApeosWare_MS¥Data¥Flow Management

ApeosWare Flow Management 2.xの例)

C:¥FUJIFILM¥ApeosWare MS¥Data

※yyyy-mm-ddは年・月・日の順番で表記されます。

なお「ジョブ管理」画面やログで表示される実行結果には、処理が正常に完了しなかった場合、以下の出力コードのみ出力されます。問題が発生した場合は、出力コードを元にメッセージ内容、および対処方法をご確認ください。

正常に処理が完了した場合、メッセージ内容の先頭には、“[DocWays AutoFAX]”という固定文字列が出力されます。

出力コード	メッセージ内容	説明
		対処方法(エラー時)
8800D000	ファイル：<文書ファイル名>のFAX送信を実行しました。 DocWays 宛先フォルダー：[宛先フォルダー名] ページ：[ページ数]	正常に DocWays 宛先フォルダーへ DocuWorks 文書の格納を完了した場合
		正常に処理が完了しました。特に対処の必要はありません。

8800D001	環境設定の初期化に失敗しました。	処理に必要なファイルが見つからない場合
		システムを再起動してください。改善されなければ、本ソフトウェアの再インストールを行ってください。
8800D002	宛先変換情報ファイル:[文書ファイル名]が見つかりません。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、宛先変換情報ファイルが見つからない場合
		指定した宛先変換情報ファイルが存在するかどうか確認してください。
8800D003	宛先変換情報ファイル:[文書ファイル名]のアクセスに失敗しました。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、ファイルアクセスエラーが発生した場合
		<ul style="list-style-type: none"> 宛先変換情報ファイルのアクセス権を確認してください。 指定した宛先変換情報ファイルを開いた状態であれば、ファイルを閉じてください。
8800D004	宛先変換情報ファイル:[文書ファイル名]には送信情報が1つも設定されていません。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、ファイルにFAX送信情報が存在しない場合
		宛先変換情報ファイルにFAX送信情報を登録してください。
8800D005	宛先変換情報ファイル:[文書ファイル名]からFAX番号が取得できませんでした。	宛先変換情報ファイルを使用する設定で、ファイル内から宛先変換キーに該当するFAX番号が存在しない場合
		宛先変換情報ファイルに宛先変換キーに該当するFAX番号を登録してください。
8800D006	テンプレート文書:[文書ファイル名]が見つかりません。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定したテンプレート文書ファイルが見つからない場合
		指定したテンプレート文書ファイルが存在するかどうか確認してください。
8800D007	テンプレート文書:[文書ファイル名]は、セキュリティで保護されているためテンプレートとして使用できません。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定したテンプレート文書にセキュリティ(操作の制限やパスワード)が設定されている場合
		テンプレート文書のセキュリティ保護を解除してください。
8800D008	テンプレート文書:[文書ファイル名]は0ページ文書です。テンプレートとして使用できません。	背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定したテンプレート文書のページ数が0である場合

		1 ページ以上のテンプレート文書を指定してください。
8800D009	テンプレート文書:[文書ファイル名]は、未サポートの DocuWorks 文書です。	<p>背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定したテンプレート文書の文書形式が不正な場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡張子が“xdw”の DocuWorks 文書または、拡張子が“xbd”の DocuWorks バインダーを指定してください。 ・指定したテンプレート文書が DocuWorks Desk または DocuWorks Viewer で開けるかどうか確認してください。 ・改善されなければ、テンプレート文書を作成し直してください。
8800D00A	テンプレート文書からのページ取得に失敗しました。	<p>背景にテンプレート文書を使用する設定で、指定したテンプレート文書からの先頭ページ取得処理に失敗した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定したテンプレート文書が DocuWorks Desk または DocuWorks Viewer で開けるかどうか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスクの空き容量があるかどうか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・改善されなければ、テンプレート文書を作成し直してみてください。
8800D00B	空白ページ挿入に必要なファイルが見つかりません。	<p>本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書が見つからない場合</p> <p>本ソフトウェアの再インストールを行ってください。</p>
8800D00C	空白ページ挿入用のファイルは、セキュリティで保護されているためテンプレートとして使用できません。	<p>本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書がセキュリティ保護されている場合</p> <p>本ソフトウェアの再インストールを行ってください。</p>
8800D00D	空白ページ挿入用のファイルは、0 ページ文書のためテンプレートとして使用できません。	<p>本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書のページ数が 0 である場合</p> <p>本ソフトウェアの再インストールを行ってください。</p>
8800D00E	空白ページ挿入用のファイルは、未サポートの DocuWorks 文書で	本ソフトウェアで使用する DocuWorks 文書の文書形式が不正な場合

	す。	本ソフトウェアの再インストールを行ってください。
8800D00F	<p>カタログファイルの作成に失敗しました。</p> <p>DocWays 宛先フォルダー:[フォルダー名] [詳細:XXXX]</p>	<p>DocWays 宛先フォルダーに格納するユーザカタログファイルの作成に失敗した場合 ([詳細:XXXX]はシステムのエラーコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークが接続されているか、確認してください。 ・DocWays 共有フォルダーが存在するかどうか確認してください。 ・DocWays 宛先フォルダーを設定しているディスクの容量を確認してください。 ・DocWays 共有フォルダーおよび、DocWays 宛先フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・他ユーザー名で DocWays サーバーまたは、DocWays 共有フォルダーにアクセスしていないか確認してください。 ・エラーとなったジョブの再実行を行ってください。 ・設定したユーザー名とパスワードを確認してください。 ・対象のフロー情報を再設定してください。 ・改善されなければ、DocWays 共有フォルダーを一旦解除し、共有フォルダーを再設定してください。またシステムの再起動および、本ソフトウェアの再インストールを行ってください。
8800D010	<p>指定ページの取得に失敗しました。</p> <p>ファイル名:[文書ファイル名]</p>	<p>DocuWorks 文書から指定したページを抽出し束ねて 1 文書にする処理で失敗した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DocuWorks 文書から 1 ページ以上の DocuWorks 文書が作成可能なページ指定を行っているかどうか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスクの空き容量があるかどうか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。
8800D011	FAX 送信設定情報の取得に失敗しました。	<p>設定したフロー情報の取得に失敗した場合</p> <p>設定したフロー情報に本ソフトウェアのフロー情報がない場合</p> <p>フロー情報用のメモリ領域の確保ができなかった場合</p> <p>設定したフロー情報の内容が不正な場合</p>

		対象のフロー情報を再設定してください。改善されなければ、システムの再起動を行ってください。
8800D012	ファイル:[文書ファイル名]が見つかりません。	<p>処理対象の DocuWorks 文書が見つからない場合</p> <p>処理を再実行してください。改善されなければ、システムを再起動してください。</p>
8800D013	ファイル:[文書ファイル名]は、セキュリティで保護されているため FAX 送信できません。	<p>処理対象の DocuWorks 文書にセキュリティ(操作の制限やパスワード)が設定されている場合</p> <p>処理対象の DocuWorks 文書のセキュリティ保護を解除してください。</p>
8800D014	ファイル:[文書ファイル名]は、0 ページ文書のため FAX 送信できません。	<p>処理対象の DocuWorks 文書のページ数が 0 であるため処理できない場合</p> <p>1 ページ以上の DocuWorks 文書を処理対象としてください。</p>
8800D015	ファイル:[文書ファイル名]は、未サポートの DocuWorks 文書です。	<p>本ソフトウェアがサポートしていないバージョンの DocuWorks 文書のため、FAX 送信できない場合</p> <p>本ソフトウェアがサポートしているバージョンの DocuWorks 文書を指定してください。</p>
8800D016	ファイル:[文書ファイル名]から、先頭ページに貼り付けるイメージを取得できませんでした。	<p>DocuWorks 文書の特定のページ(イメージ)を貼り付ける処理において、指定されたページのイメージが取得できなかった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロー情報に設定した DocuWorks 文書の特定のページに問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスクの空き容量に問題がないか確認してください。
8800D017	ファイル:[文書ファイル名]を作業用フォルダー:[フォルダー名]にコピーできませんでした。	<p>DocuWorks 文書を、本ソフトウェアの作業用フォルダーへのコピーに失敗した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスクの空き容量に問題がないか確認してください。
8800D018	ジョブから属性情報:[属性表示名]の取得に失敗しました。	[基本情報] タブー [送信先を指定するための設定をここで行います] グループで設定した FAX 番号情報を取得できなかった場合

		対象のフロー情報を再設定してください。
8800D019	送信先から取得した値:[属性値]は、FAX 番号として使用できません。	<p>[基本情報] タブ [送信先を指定するための設定をここで行います] グループで設定した FAX 番号情報が、FAX 番号として使用できない情報の場合</p> <p>指定した ApeosWare Flow Management の属性が FAX 番号として適切な内容かどうか、確認してください。改善されなければ、対象のフロー情報を再設定してください。</p>
8800D01A	ファイル:[文書ファイル名]はサポートしていないファイル形式です。	<p>処理対象の文書が DocuWorks 文書ではない場合</p> <p>本ソフトウェアが処理する文書を、拡張子が“xdw”の DocuWorks 文書または、拡張子が“xbd”の DocuWorks バインダーとなるようにフロー情報を設定してください。</p>
8800D01B	FAX 送信文書の作成に失敗しました。	<p>DocuWorks 文書から指定されたページの抽出および束ねる処理でエラーが発生した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスクの空き容量に問題がないか確認してください。 ・DocuWorks を起動していた場合、終了してみてください。改善されなければ、処理の再実行または、システムを再起動してください。
8800D01C	FAX 送信文書へのアノテーション貼り付けに失敗しました。	<p>DocuWorks 文書の特定のページ(イメージ)を貼り付ける処理または、コメント貼り付け処理において、アノテーションの貼り付けができなかった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・本ソフトウェアの作業用フォルダーのディスクの空き容量に問題がないか確認してください。 ・DocuWorks を起動していた場合、終了してみてください。改善されなければ、処理の再実行または、システムを再起動してください。
8800D01D	DocWays 宛先フォルダー:[宛先フォルダー名]へのアクセスに失敗しました。	<p>DocWays 宛先フォルダーにアクセスできなかった場合 ([詳細:XXXX]はシステムのエラーコード)</p>

	<p>[詳細:XXXX]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークが接続されているか、確認してください。 ・DocWays 共有フォルダーが存在するかどうか確認してください。 ・DocWays 宛先フォルダーを設定しているディスクの容量を確認してください。 ・DocWays 共有フォルダーおよび、DocWays 宛先フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・他ユーザー名で DocWays サーバーまたは、DocWays 共有フォルダーにアクセスしていないか確認してください。 ・エラーとなったジョブの再実行を行ってください。 ・設定したユーザー名とパスワードを確認してください。 ・対象のフロー情報を再設定してください。 ・改善されなければ、DocWays 共有フォルダーを一旦解除し、共有フォルダーを再設定してください。またシステムの再起動および、本ソフトウェアの再インストールを行ってください。
<p>8800D01E</p>	<p>ファイル:[文書ファイル名]のコピーに失敗しました。 DocWays 宛先フォルダー:[宛先フォルダー名] [詳細:XXXX]</p>	<p>DocWays 宛先フォルダーへファイルの格納ができなかった場合 ([詳細:XXXX]はシステムのエラーコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークが接続されているか、確認してください。 ・DocWays 共有フォルダーが存在するかどうか確認してください。 ・DocWays 宛先フォルダーを設定しているディスクの容量を確認してください。 ・DocWays 共有フォルダーおよび、DocWays 宛先フォルダーのアクセス権に問題がないか確認してください。 ・他ユーザー名で DocWays サーバーまたは、DocWays 共有フォルダーにアクセスしていないか確認してください。 ・エラーとなったジョブの再実行を行ってください。 ・設定したユーザー名とパスワードを確認してください。 ・対象のフロー情報を再設定してください。 ・改善されなければ、DocWays 共有フォルダーを一旦解除し、共有フォルダーを再設定してください。またシステムの再起動および、本ソフトウェアの再インストールを行ってください。

8800D01F	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。 ファイル:[文書ファイル名] [詳細:XXXX]	DocuWorks 文書のチェック時に上記以外のエラーが発生した場合 ([詳細:XXXX]は DocuWorks API のエラーコード)
		DocuWorks 文書を確認してください。改善されなければ、システムの再起動および、本ソフトウェアの再インストールを行ってください。
8800D020	コメントに貼り付ける属性情報 : [属性表示名]の取得に失敗しました。	コメントに貼り付ける属性情報を取得できなかった場合
		対象のフロー情報を再設定してください。

8. 注意／制限事項

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementを使用する場合の注意／制限事項について説明しています。

8.1 FAX 番号について

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementでは、FAX番号を次のように扱います。

- ・FAX番号で指定可能な文字は、以下を除いた半角（ASCII）文字とします。

¥"

- ・最大40字（半角相当）まで指定可能です。
- ・同報FAX送信を行う場合は、最大512字（半角相当）まで指定可能です。
- ・文書からFAX番号を自動で読み取る場合に、読み取ったFAX番号の40文字（半角相当）を超える部分は捨てられます。
- ・FAX番号の前後の空白は取り除かれます。

（空白付きFAX番号） ■■■■■0311112222■■■■■

（加工後のFAX番号） 0311112222

- ・FAX番号に以下の文字が指定された場合、該当する文字を全て取り除いた形式にして送信します。

空白、ハイフン (-)、カンマ (,)、改行、タブ

- ・同報FAX送信を行う場合は、送信先のFAX番号を「; (半角セミコロン)」で区切るにより指定できます。

指定したFAX番号の重複チェックは行いません。

例) 0311112222;0633334444;.....

8.2 処理可能な文書ファイルについて

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementで処理可能な文書ファイルについて説明します。

- ・拡張子が“xdw”のDocuWorks文書をサポートします。
- ・拡張子が“xbd”のDocuWorksバインダーをサポートします。
- ・セキュリティ（操作の制限やパスワード）が設定されているDocuWorks文書／DocuWorksバインダーは送信できません。

8.3 DocWaysー共有フォルダー／宛先フォルダーについて

DocWays宛先フォルダーへファイルを格納するためには、「DocWays AutoFAX設定」画面で次の条件を満たすユーザー名を設定する必要があります。

- ・ DocWays共有フォルダーのあるサーバーへログオン可能であること。
- ・ DocWays宛先フォルダーへファイルの読み書きが可能であること。

8.4 DocWaysー使用する FAX プリンタの注意事項

DocWaysで使用するFAXプリンタに対して以下の機能が制限されます

- ・ FAXプリンタに直接指定した宛先情報はすべて無視されます。
- ・ FAXプリンタにて有効になる項目は、「送信シート」、「時刻指定送信」、「送信画質」、「用紙に関連する情報」です。

8.5 CSV 形式ファイル読み込みに関する注意事項

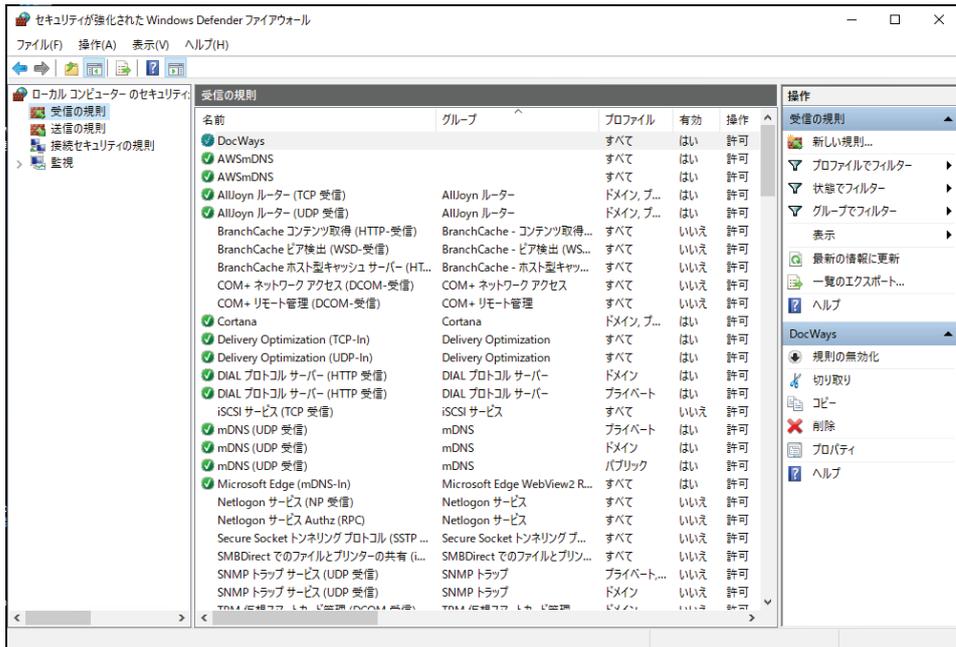
UTF-8 形式の CSV 形式ファイルを使用して、送信情報変換項目画面を表示すると一覧のデータが文字化けして表示されることがあります。

UTF-8 形式は対応していないので、Sift-JIS 形式で保存した CSV 形式ファイルをご利用ください。

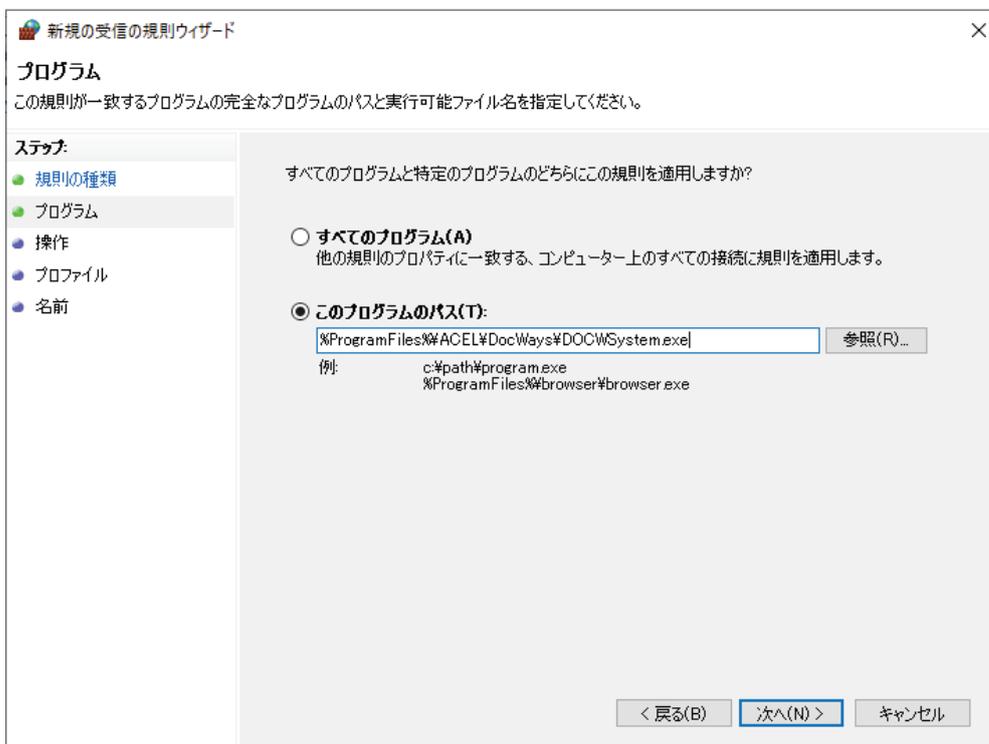
8.6 DocWays の宛先フォルダーについて

DocWays に登録されている宛先フォルダーが見つからない場合、Windows ファイアウォールの設定を行う必要があります。

- ①コントロールパネルから Windows Defender ファイアウォールの詳細設定画面を開き、左側のツリーから「受信の規則」をクリックします。



- ②次に右側の操作リストから「新しい規則」をクリックします。
- ③規則の種類では“プログラム”を選択し[次へ]をクリックします。
- ④プログラムには、DOCWSYSTEM.exe のパスを入力し[次へ]をクリックします。



- ⑤操作では、“接続を許可する”を選択し[次へ]をクリックします。
- ⑥プロファイルでは、“パブリック”を選択し[次へ]をクリックします。
- ⑦名前では、この受信規則の名前を入力し[完了]をクリックします。

※ポート番号の指定は、登録した受信規則のプロパティの[プロトコルおよびポート]タブから設定できます。DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementから文書を受け取る場合は、プロトコルの種類にTCPを選択し、「ローカルポート」のポート番号に31000を指定してください。また「リモートポート」には“すべてのポート”を指定してください。

8.7 「DocWays AutoFAX 設定」画面が開かない場合

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management をインストールした直後に「フローの新規作成」画面、または「フロー編集」画面の[配信先]の追加コンボボックスから“DocWays AutoFAX”を選択すると、警告画面が表示され「DocWays AutoFAX 設定」画面が開かないことがあります。このような場合、ApeosWare Flow Management がインストールされているマシンを再起動することで改善されます。

8.8 ファイルのダウンロード/アップロード機能について

ApeosWare Management Suite 2 Flow Management Option をご利用の場合、宛先情報変換ファイル（CSV 形式、タブ区切り）およびテンプレート文書のダウンロード機能はご利用できません。

また、テンプレート文書のアップロード機能もご利用できません。

テンプレート文書を使用したい場合、DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management のインストールフォルダー直下の「Templete」フォルダーへ、ユーザー操作でテンプレート文書として使用したい文書ファイルを格納してください。

8.9 SMB プロトコルについて

ApeosWare Flow Management 1.4 以前のバージョンをご利用の場合、DocWays をインストールしている環境の SMBv1 プロトコルは有効にしてください。SMBv1 プロトコルが無効な場合、DocWays の宛先フォルダーへのユーザー認証は失敗します。

なお、ApeosWare Management Suite 2 Flow Management Option をご利用の場合は、SMBv1 プロトコルが無効でも DocWays の宛先フォルダーへのユーザー認証は成功します。

8.10 ドメイン環境に関する注意事項

DocWays のサーバーにログインするためのユーザーがドメインに参加している場合、[基本情報]タブのユーザー名にはドメイン名とユーザー名をあわせてご指定ください。

- ・ユーザー名がusername、ドメイン名がmydomainの場合

例) mydomain¥username

- ・ユーザー名がusername、ドメイン名がmydomain.comの場合

例) username¥mydomain.com

なお、"username@mydomain"、"username@mydomain.com"のように「@」を使用することはできませんのでご注意ください。

8.11 バージョンアップに関する注意事項

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Ver1.2は旧バージョンからのバージョンアップには対応していませんのでご注意ください。

DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Ver1.2はApeosWare Flow Management 2.2.2に対応していますが、旧バージョンがインストールされた状態でApeosWare Flow Managementを2.2.2にバージョンアップした環境はサポート対象外です。ApeosWare Flow Managementをバージョンアップする前に必ず旧バージョンをアンインストールし、ApeosWare Flow Managementを2.2.2へバージョンアップした後の環境に対してDocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Ver1.2をインストールしてください。

旧バージョンがインストールされた状態でApeosWare Flow Managementを2.2.2にバージョンアップした環境に対してDocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management Ver1.2をインストールしたい場合、弊社サポート係までお問い合わせください。

8.12 データ移行に関する注意事項

ApeosWare Flow Management 2.2.2以前の環境で使用していたフローをApeosWare Flow Management 2.2.2で使用することは可能です。

なお、データ移行ツールは提供していませんので下記操作を実施してください。

[旧環境での操作]

- ①DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementの機能を使用しているフローをエクスポートします。エクスポートの操作はApeosWare Management Suite 2 Flow Management Optionの

機能ガイドをご参照ください。

②DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementの固有情報を取り出します。

対象は、宛先情報変換ファイル（CSV形式、タブ区切り）およびテンプレート文書で、インストール先フォルダー配下の「Template」「CSV」フォルダーです。

③DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementが不要な場合、アンインストールを行なってください。

[新環境での操作]

①DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Managementがインストールされていない場合、

インストールを行なってください。インストール後は必ずマシンの再起動を行なってください。

②[旧環境での操作](2)で取り出したファイルを新環境に設置します。

格納先のフォルダー階層、アクセス権など、旧環境と同じにしてください。

③フローをインポートします。インポートの操作はApeosWare Management Suite 2 Flow Management Optionの機能ガイドをご参照ください。

④ApeosWare Management Suiteで[フロー一覧]ページを表示し、Flow Service のルールが正しく移行されたかを確認します。

なお、新環境で宛先情報変換ファイルを参照する機能を使用する場合、移行後のフローは編集しないでください。

サポートお問い合わせは...

この商品のセットアップ・操作・機能などについてのお問い合わせは、エイセル（株）製品サポート係までご連絡ください。

エイセル株式会社 製品サポート係

E-Mail info-docways@acel.co.jp

FAX 03-3230-6516

※受付時間 平日 10:00～12:00, 13:00～16:30
土日・祝祭日・当社指定休日を除く

URL <https://www.acel.co.jp>

なお、お問い合わせいただく際には、以下の項目をご確認ください。

- DocWays AutoFAX for ApeosWare Flow Management、DocWays、ApeosWare Flow Management のバージョン
- ご使用中のコンピューターの機種名および動作環境
- メモリ・ディスク容量や周辺機器の機種名など
- エラーメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの内容
- 現象が起きた場合の詳細な手順がお分かりであれば、その内容

FAX 送信ソリューションソフトウェア

ACEL DocWays AutoFAX

for ApeosWare Flow Management

ユーザーズマニュアル

2014 年 4 月	初版発行
2021 年 10 月	1.8 版発行
2023 年 6 月	1.9 版発行
2023 年 9 月	2.0 版発行
2024 年 12 月	2.1 版発行
2025 年 4 月	2.2 版発行

発行所 エイセル株式会社

住 所 〒102-0083 東京都千代田区麹町 3 丁目 1 番地 1 麹町 3 1 1 ビル

著 作 者 ©Copyright 2014-2025. by エイセル株式会社

[本書の内容は、断りなく変更することがあります。]